

牧草の収穫・調製作業が終了しました

畜産センターでは8.5haの飼料畑を活用し、飼養する50頭の乳牛の飼料として春作にイタリアンライグラス、夏作にスーダングラスを作付けしています。

今年は、春先の天候に恵まれたことから、4月中にイタリアンライグラス1番草の収穫調製作業が終了し、約120tのロールサイレージを生産することができました。

夏作では播種後に1年生雑草のイチビが繁茂し、スーダングラスの発育が阻害されたことから、計画していた160tから約100tの減収となりました。

今後は、来シーズンに向けてイチビ対策を行うとともに、肥培管理による土壌改善を図り、収量の安定と品質の向上を目指します。



収穫作業風景



繁茂したイチビ

畜産センター